

## 欧文誌”Earth, Planets and Space”のオープンアクセス化 Open Access Publication of Journal ”Earth, Planets and Space”

小田 啓邦<sup>1\*</sup>, 小川 康雄<sup>2</sup>  
Hirokuni Oda<sup>1\*</sup>, Yasuo Ogawa<sup>2</sup>

<sup>1</sup> 産業技術総合研究所, <sup>2</sup> 東京工業大学

<sup>1</sup>National Institute of Advanced Industrial Science and Technology, <sup>2</sup>Tokyo Institute of Technology

欧文学術誌”Earth, Planets and Space”(EPS 誌)は地球電磁気・地球惑星圏学会, 日本地震学会, 日本火山学会, 日本測地学会, 日本惑星科学会の5学会によって出版され, 世界中の全ての著者に対して開かれたジャーナルである。EPS 誌は”Journal of Geomagnetism and Geoelectricity”および”Journal of Physics of the Earth”の2誌の後継誌として1998年に創刊された。平成25年度の研究成果公開促進費「国際情報発信力強化」に対応して, EPS 誌は2014年1月から全ての論文をオープンアクセスする方針を定め, その準備を進めてきた。図書館購読モデルからオープンアクセスモデルへの転換によって, 学術誌の主要な収入が著者負担額(APC)となるために, 著者がEPS 誌で出版するメリットについて再確認することとなった。今後の方針として, EPS 誌はオープンアクセスになるとともにLetterを重点化し, 2016年1月から日本地球惑星科学連合と共同で出版を行う予定である。発表では, EPS 誌のこれまでのオープンアクセスに対する取り組みとこれからの方向性について紹介させていただく。

キーワード: Earth, Planets and Space, オープンアクセス, 欧文学術誌, 著者負担額, 図書館購読モデル, オープンアクセスモデル

Keywords: Earth, Planets and Space, open access, Academic Journal, Article Processing Charge, library subscription model, open access model